

Q 医療崩壊と言われる中で、医師不足だとかあると思いますが、その辺の見通しは確実な線で答えられたのか。

A 医師については、豊田会からは毎年1人ずつ増加させる予定だと伺っています。現在は常勤医4人ですが、内科医1人を年度末までに高浜分院へ移す予定だと伺っています。

Q 診療科自体が増えるとか、救急医療をやるための医師を充当するというような話ではないのか。

A 救急について豊田会は、刈総本院一本で行い、高浜分院で行うことは今の段階では考えていません。1人増える医師については、104のベッドを埋め、入院患者さんを診ていくためには、医師が過重労働にならないために最低でも常勤医が5人必要であるためです。

Q 豊田会との計画は、契約年数も決まっているのか。

A 市立病院の移譲にあたり、豊田会とは協定書を締結しています。豊田会は、高浜市と協力し、10年以上高浜の地域医療を継続すると謳っています。

なったままであればこれをどのように処分するのか。

A 医師宿舎については、必要ないと伺ったので、病院の移譲の際に高浜市の病院の特別会計から一般会計へ移し、高浜市の財産となっています。今後の利用については今検討をしているところです。

介護保険グループ説明・回答

③特別養護老人ホーム入居待機者数は、高浜安立荘では8月末現在126人で、そのうち、在宅で介護サービスが必要な要介護3～5の方々は28人です。ここ数年、30人前後で推移しています。今後の施設整備は、より在宅に近い施設整備が必要と考えており、現在計画中の介護保険施設は地域密着型介護老人福祉施設（小規模特別養護老人ホーム）で、入居定員29人以下という小規模で家庭的な雰囲気と、地域や出身世帯との結びつきが一層強くなる施設です。第5期介護保険計画期間（平成24年度～平成26年度）の、初年度に事業者選定を行い、選定された事業者により施設整備を行い、平成25年度当初事業開始予定です。



高浜市の健全な財政 平成22年度「高浜市事業仕分け」の費用対効果について

本郷町町内会から説明・質問
①「事業仕分け」の効果をもどのように考えているか。かかった費用総額に対して予想効果額を教えてください。
②構想日本の提案書の指摘事項を実施する方向性は（高浜市が全額出資する「高浜総合サービス」のあり方・方向性は）
③「高浜市の健全な財政」に向けて、来年以降も構想日本に願っているのか。今後の見通しを教えてください。

財務評価グループ説明・回答

①今回の事業仕分けの目的は、大きく分けて3つあります。
①事業のあり方などを含めた行財政全体の再構築、②事業の「見える化」、③職員意識改革。国の事業仕分けのような、事業費のカット、削減が目的ではないということをご理解いただきたいと思えます。今回の効果として、市がどういった事業にどのように取り組んでいるのかを広く市民の皆さまに知っていただく良い機会になったということ、そして、職員においては自らが取り組んでいる事業を改めて考え直す機会となり、さまざまなお気付きを得ることができたなど、大変効果のある事業仕分けであったと思っております。費用面の効果については、事業仕分けに要した経費が総額3,206,205円（構想日本への委託料：2,156,700円、資料作成や会場設営の委託料など：1,049,505円）。予想効果額は、23年度当初予算で、約35,400,000円の削減が見込まれているところです。

高浜市総合サービスについて

②高浜市総合サービスについては、事業仕分け委員会の提言内容を踏まえ、これからも、市民の方に対し、より少ない負担で、より良質なサービスを提供するための「新しい公共の担い手」「パートナー」として位置付けていきたいと考えております。

③来年度（23年度）は、原則実施予定です。実施方法については、より効果的な事業仕分けとなるように考えています。構想日本への委託は、ひとつの選択肢として、再度協力をお願いすることも検討しています。24年度以降については、2年間の事業仕分けで培った手法を行政評価の仕組みの中に取り入れて、市民の皆さまと共に歩む経営の実現に向けた取り組みを推進していきたいと考えております。

Q 高浜市総合サービスのあり方についてということ

でしたが、総合サービスが来ている高浜工コハウスの年間の維持費はどれくらいですか。

A 21年度の決算では、施設の管理業務委託料として、8,369,000円となっております。

Q 目的が3つありましたが、職員の意識改革について、幹部の方から見て具体的にあれば教えてください。

A ある部署は壁に進捗状況を、誰がどの担当でどういう事業をやった、今どこまで進んでいるのかを、貼り出しています。また、事業について細々とした書類を作らせました。ああいうことを経験する中で、今まで色んな書類がいくつもあるが、書式を揃えて、全ての資料をもって検討ができるように一本化できないかどうか、という意見も出してきました。10年20年やってきた仕事を見直すという意識にはなかなかありません。一度立ち止まり、振り返ってみるのは、こういうことをやらなければなかなかできません。これはその一つのきっかけになったと私は思っております。

